

## 遠州灘沿岸海岸保全基本計画の変更（案）概要について

### 1 海岸保全基本計画とは

- 海岸法に基づき「防護・環境・利用」の調和のとれた海岸保全を行うため、国は海岸の保全に対する基本的な指針である「海岸保全基本方針」を定めています。
- 愛知県では、この方針に基づき2003年に隣県の三重県・静岡県と共同で三河湾・伊勢湾沿岸と遠州灘沿岸の2沿岸の「海岸保全基本計画」を策定しました。



### 2 今回の計画変更について

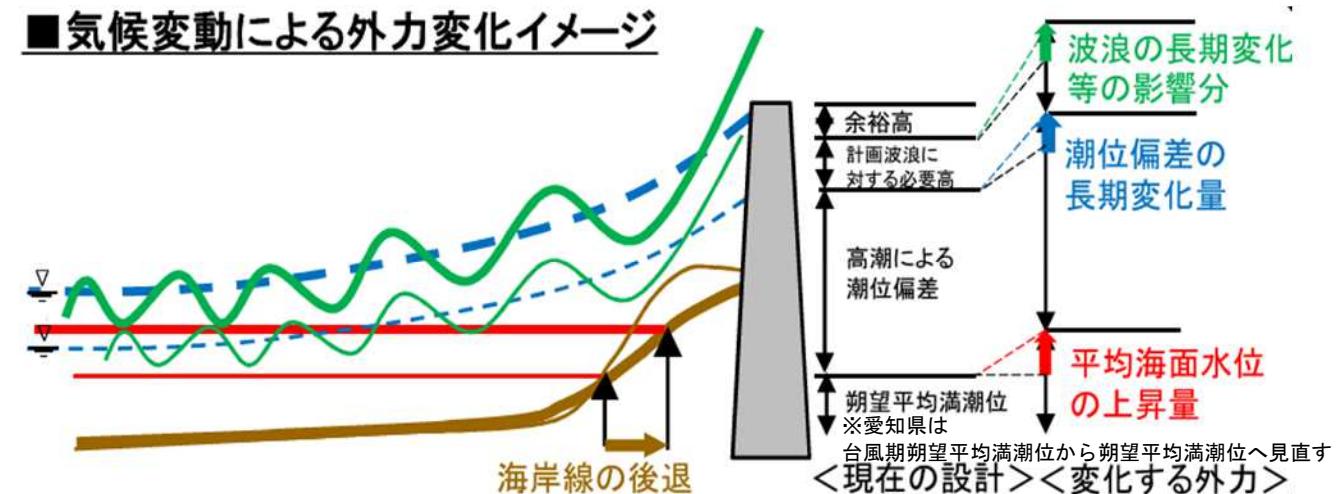
- 国が2020年7月の「気候変動を踏まえた海岸保全のあり方検討委員会」の提言を踏まえ、同11月に、海岸保全について気候変動による影響を考慮した「海岸保全基本方針」に変更したことから、今回この方針を踏まえ静岡県と共同で「遠州灘沿岸海岸保全基本計画」の変更を行います。

### 3 計画変更のポイント

- 高潮防護目標：潮位は朔望平均満潮位に気候変動による海面上昇量を加え、高潮による潮位偏差は伊勢湾台風規模に気候変動による台風中心気圧低下を考慮し、設定した計画高潮位に対し必要となる防護機能を施設整備目標とします。
- 地震津波防護目標：気候変動に伴う海面上昇を考慮した津波高を想定し、必要となる防護機能を施設整備目標とします。

- 侵食防護目標：将来的な気候変動による影響も考慮し、継続的なモニタリングに基づく「順応的砂浜管理」を行い、侵食等の状況を踏まえ、汀線を保全・維持するためには必要となる防護機能を施設整備目標とします。

### ■気候変動による外力変化イメージ



### 4 海岸の防護の目標を達成するための施策

#### 構造上の工夫

##### 粘り強い海岸堤防 (新たな構造)



陸側の法面が崩れ落ちている例が多かった

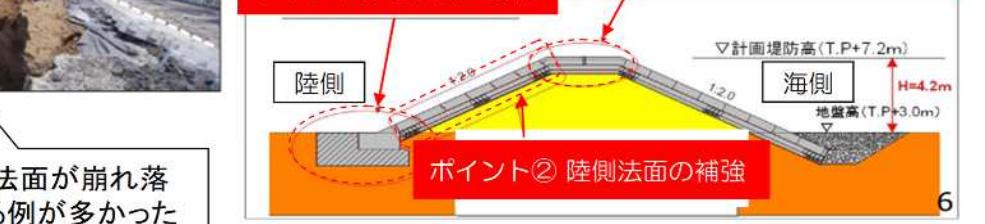
- 堤防が破壊、倒壊するまでの時間を少しでも長く
- 堤防が全壊（完全に流出した状態）に至る危険性を低減

<粘り強い海岸堤防のポイント>

ポイント① 法尻部の強化

ポイント③ 天端被覆工の補強

ポイント② 陸側法面の補強



#### 「順応的砂浜管理」のイメージ図

